（様式２）　　令和６年度　第５回学校運営協議会報告

さつま町立佐志小学校

１　開催日時　　令和７年３月５日（水）　18：30～19：45

２　開催場所　　佐志小学校　図書室

３　説明事項・協議事項

(1)　学校の現況報告について

３学期及び１年間の学校の現状（学習面・生徒指導面・体力面等）について，資料を基に説明・協議を行う。

(2)　令和６年度学校経営総括及び令和７年度学校経営について，資料を基に説明を行う。

・学力向上，家庭学習，生徒指導，職員指導，施設設備等の学習環境，その他

・令和７年度グランドデザイン，今後５年間の佐志小の推移

(3)　コミュニティスクール（学校運営協議会を設置した学校づくり）の推進について，資料を基に説明・協議を行う。

(4)　協議内容

・５年生の鹿児島学力・学習状況調査，良い結果が出ており，基礎的な力は十分ついていることが分かった。先生方が頑張って学力を付けてくれていることが伝わる。ありがたい。

・児童質問紙では授業が分かりやすいと感じている児童，学校で学習したことが社会に出たときに役立つと感じている児童の割合が高い。自分には良いところがある，先生はあなたの良いところを認めてくれていると感じている児童の割合も高い。今後も自己肯定感を高めたり，なぜ勉強するのかを考えさせたりしたい。

・若干，国語が鹿児島県に比べて低い結果になっている。国語の読解力に課題が見受けられる。日頃の授業で，じっくり問題を読んで考えたり，しっかり聞き取ったりする習慣を身につけさせていく。思考力・判断力・表現力の育成や，児童の学びに向かう力を高めていくための授業改善を目指し，職員の研修を深めていく。

・家庭学習時間（特に週末）や家庭読書時間は低い傾向がある。６年生の全国学力・学習状況調査の児童質問紙でも，家庭の蔵書数や新聞を読む機会は全国よりも低い結果だった。音読を記録している「読み声カード」や，ＰＴＡで取り組んでいる「ほっとタイムウィーク」の機会を活用し，保護者へ意識啓発しながら，学校と家庭が連携して取り組み，家庭学習習慣や生活習慣の確立していきたい。

・佐志の日をもっと盛り上げたり，認知度を高めていったりできるよう工夫していきたい。もっと佐志区民が授業を参観したり，子供たちの様子を覗いたりできるよう働きかけたい。

・令和 10 年度から入学生が減り，児童数減が見込まれる。少子化のため避けられない問題かもしれないが，特認校制度のある自治体もあるようだが，佐志の魅力をアピールしたり，佐志の空き地や空き家の問題も佐志区で話題にしたりしていきたい。

・今年度は，職員チームが佐志区バレーボール大会に参加してくれて非常に嬉しかった。また，運動会だけでなく産業祭も学校と佐志区が合同開催できた。職員の顔と名前が一致しなかったコロナ禍の時期を思うと，今は佐志区と学校が一体となって学校づくりをしている感じがして心強いし，活気が出るし，今後が更に期待できる。ニュー女性部が，家庭科の授業で子供たちのサポートをしているのも素晴らしいし，ありがたい。

・綱引き選手権大会に，今年は児童３チーム・水泳スポ少・ＰＴＡチーム・佐志区チームと参加チームが増えた。練習に力を入れ，試合を頑張り，応援で盛り上がり，佐志区のまとまりや一体感が強くなった。低学年の頃からそういう様子を目にすることは，所属感も高まり良いことだと思う。個人情報の取り扱いで反省点があったため，今後は気をつけていきたい。意識を高めなければならない。

・親や先生たちだけではなく，地域の大人も，駄目なことは駄目だと注意したり声かけしたりできる佐志区でありたい。

・現在，木渋と池之野が児童不在公民会となっている。しかし，令和８年度からは布田と広瀬も不在公民会となりそうである。行事などを考えると，現役のＰＴＡ会員の負担が増えるかもしれない。ＰＴＡ活動をどうしていくか，佐志区としてどうフォローしていくかも考えなくてはならないのではないか。